

とうふねこ座：市川雅子 画

# まちがいがし クイズ

蒲郡の民話①

「法辨さん」(西浦町)

## 問題

上下の絵を見くらべて、  
まちがいを8カ所見つけてください。



あなたは何分でわかりましたか？

- ・1分以内 ..... 天才
- ・3分以内 ..... 秀才
- ・5分以内 ..... 普通

## 応募方法

ハガキまたはファクスに、答えと住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり10月号に掲載しますので、ご了承ください。

## 送り先

〒443-8601 旭町17番1号  
企画広報課「クイズ」係  
FAX66♦1190

## 応募締切

8月17日(月)当日消印有効

## プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で5人の方にクオカードをプレゼントします。なお、賞品は10月初旬ごろ郵送します。

## 「法辨さん」

西浦のむかしむかしの話です。  
今の猿ヶ島のへんから、毎晩のようにからす天狗が飛んできては、ほうぼうの娘さんをさらってしまいます。

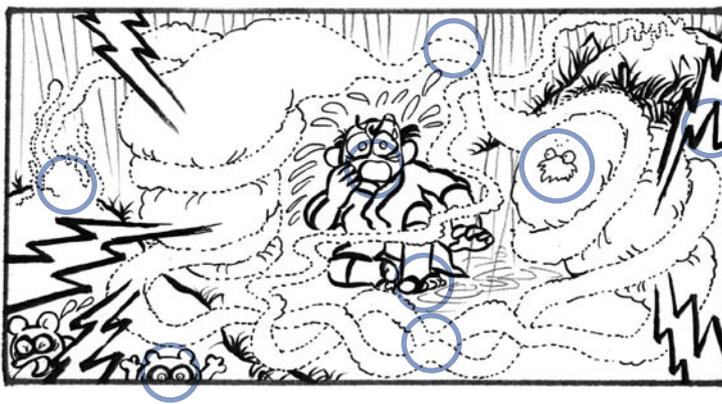
ある晩のこと、竜田の浜にきて、酒屋に娘を出せといってきたそうです。娘の両親は悲しみ泣いていました。どうかして娘を連れていかないようにする事はできないかと、隣や親類の人とも相談をしましたところ、からす天狗を神様に祀ってしまったらという人がでてきました。大山といつて今の西浦温泉の山のことですが、その山へ祀ることにしました。大山は、いろいろな木が生い茂り、大きな蛇もいたそうです。そこへ、からす天狗を祀って、法辨さんをつけました。そして、毎月、お参りをするようになりました。

今は温泉ができ、誰もお参りに行きませんが、戦争中は、となり組でお参りに行ったそうです。本当にこわいところ、今にも天狗がでてきそうなところだったそうです。

また西浦では、漁師がほかけ船で海に出かけ、沖合いで漁をしていると、天狗が出てきては海に火をつけていたずらをするこどももあった。それに漁師が逆らうと、天狗は鼻が高く、いばりやだから、海面中を火の海にして、漁師をこわがらせていた。

そこで、漁師は恐ろしいので、下駄や草履を頭の上のせて、「許してください。」と謝ると、天狗は鼻が高く、いばりやだから、いい気になってあまり悪いことはしません。それで、漁師がわざわざ獲った魚をみんな持っていってしまうのでした。

明治天皇の代になって、天皇がそんな悪いことをするのは、鞍馬山へ封じ込めてしまわれ、それ以来天狗は出てこなくなりました。



## 6月号の答え

6月号クイズまちがいがし(小江の人玉合戦)にたくさんのご応募ありがとうございました。応募総数は74通あり、正解者は73人でした。  
その中で抽選を行った結果、幸運な方は次の5人の方です。  
**当選者(敬称略・50音順)**  
大塚町 近藤美紀  
新井町 白井蒼也  
三谷町 中野笑子  
形原町 松下源  
柏原町 山本実  
おめでとございます。賞品は8月初旬に発送します。